

# 古高松コミュニティ協議会 広報誌

コミュニティセンター  
落成記念号



古高松コミュニティ協議会  
会長 加藤直之

コミュニティセンター  
落成に寄せて

私達地区民が待望した古高松コミュニティセンターが完成し、去る八月十日、その落成式がめでたく遂行されました。

ご承知の事と思われますが、この施設は高松市コミュニティセンター一号館として建設されたものであり、住民と行政の協働の場として、「地域自らのまちづくり」活動を実践する拠点として機能するよう期待されるものです。

従つてこの施設が施工に至ります経過の中では、各種団体代表者による「センター整備構想を考える会」を、六ヶ月間に八回に及ぶ検討会でその整備構想をまとめ、建築設計に当つては「設計コンペ方式」の採用を、強く市当局に陳情しました。結果として香川県建築士会の設計課題として採用され、入選設計が基本設計の基となりました。

こうした経過を経て、私達はすでに「安全安心のまちづくり」を基本目標とする古高松コミュニティプランを作成して、地域自らのまちづくりに取組んでいます。どうかこの施設が「明るいまちづくり」に活用される事を、皆様と共に期待したいと思います。

# 新たな協同連帯のシンボル



地域活動の中核施設として活用を強調する増田市長の式辞



## あいさつする綾野市議会議長

綾野高松市議会

## 議長あいさつ（要旨）

立派な古高松コミュニティセンターが完成し、地元の皆様とともに心からお喜び申し上げます。

このコミュニティセンター建設に当たつては、長い時間地域の皆様といろいろ協議されたと聞いております。会長も三代にわたり、それその節目、時期を経て長い間ご苦労され、また、視察も重ね、地域として検討してきた

結果のセンターです。誠に羨ましい限りです。高松市の第一号センターでもあります。今後、ますます市の先導役を果たしてほしい。

今は、地方分権の時代といわれています。地域もそれぞれ地域協議会を中心にして特性を出した立派な地域にしなければならないと思います。各協議会の連帯で高松市全体が活気づくようお願いしたい。皆様がそれぞれの立場で活動され、地区が一体となつて繁栄されますよう心から祈念しております。

三十分から新装のコミュニティセンターホールで盛大に開かれました。式には増田昌三高松市長はじめ市関係者や来賓、地元関係者ら約百七十人が出席し、新たな地域の町づくり活動拠点のスタートを祝いました。

落成式では、まず、増田市長が「住民皆様に広く親しまれ、地域の町づくり活動の中核施設、また、地区の新たな協同連帶のシンボルとして活用して欲しい」と式辞を述べたあと、綾野和夫高松市議会議長が祝辞、香西信行市民部長が工事の経過を報告しました。工事を担当した磯野建築事務所（実施設計）、富田工務店（主体工事）、

感謝状が贈られました。来賓代表として菰渕将鷹高松市議会議員の祝辞などのあと、古高松地区コミュニティ協議会の加藤直之会長が謝辞を述べ「地域自らの町づくりの拠点施設が、私たちと行政との協同の拠点として機能するよう期待します」と強調しました。

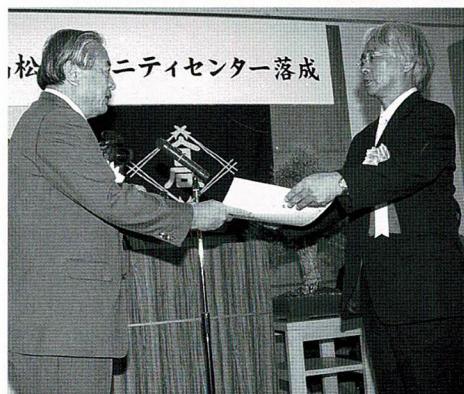
式場には、センター建設推進に尽力し、今年四月、死去した多田通夫元協議会副会長の遺影が協議会役員に抱かれて参列、念願のセンター完成を喜んでいるようでした。

落成祝賀会は、引き続き同ホールであり、桧山浩治高松市議会議

員の乾杯の発声で祝宴に移りました。アトラクションでは、日本舞踊の美扇会・浅井美奈子さんが「松の縁」、美咲会・久保美智子さん、香西ひとみさんが「雅の舞」をあでやかに披露し、お祝いムードは最高潮に達しました。和やかな歓談が続き、最後に池内静雄市議会議員の発声で万歳を三唱、閉会しました。

## 待望の落成式・祝賀会

# 古高松コマーユー「タイセントター」開館



## 工事を担当した企業4社に対して 増田市長から感謝状贈呈



待望のセンター落成を寿ぎ、和やかな歓談が続くレセプション



ホール 舞台のこけら落とし。祝宴ムードを盛り上げる祝いの舞



地域の将来も話題にたけなわの祝宴

高松市は今回の合併で人口、面積とも飛躍的に拡大したが、その一方で地域の連帯感が希薄になることなどが懸念されます。そのため従来の公民館をコミュニティセンターと改称し、市民と市政が協同して地域からの町づくり活動を実践するため、拠点施設を設けることにしました。

そしてこのたび、古高松コミュニティセンターが、新築1号として新たな地域の拠点として生まれたたく落成しました。誠に喜び変わりに、たえません。

本コミュニティセンター建設に当たっては、施設整備のプランニング段階から地域の皆様に具体的に参  
加いただき、また、古高松コミュニティセンター協議会はじめ建設準備委員会、コミュニティセンターづくりを考える会のご協力を頂きながら、基本構想が策定され、平成十七年十二月には、香川県建築士会など専門家の協力を頂く中で本市初のコミュニティセンターとして着工しました。

このたび、完成したコミュニティセンターは、地域の誰もが利用しやすいよう平屋建て構造としており、建物の総床面積も従来の地区公民館の約一・四倍となっています。また、建物の西側には円形のコミュニティ広場や、屋外ステージを設けるなど機能面にも工夫をこらして整備されています。

今後、このコミュニティセンターが、住民皆様に広く親しまれ、地域の町づくり活動の中核施設、また、古高松地区の新たな協同連帶のシンボルとしてしっかりと活用いただきま  
すよう心から期待しております。

## 増田 高松市長式辞（要旨）



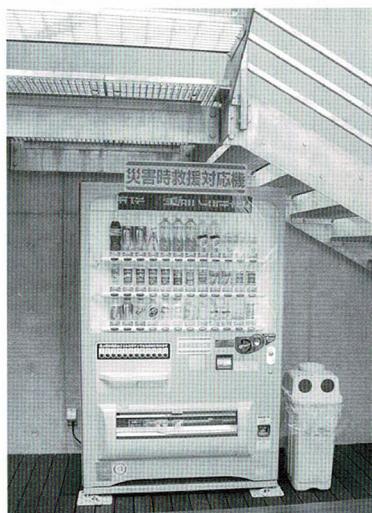
式典会場の元副会長、故多田通夫氏の遺影

# 年代超え集い、学び、交流

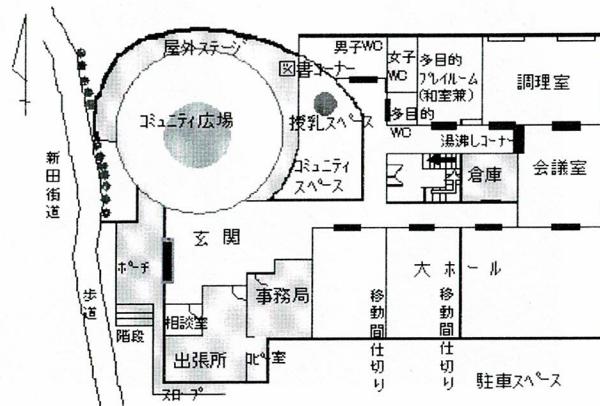
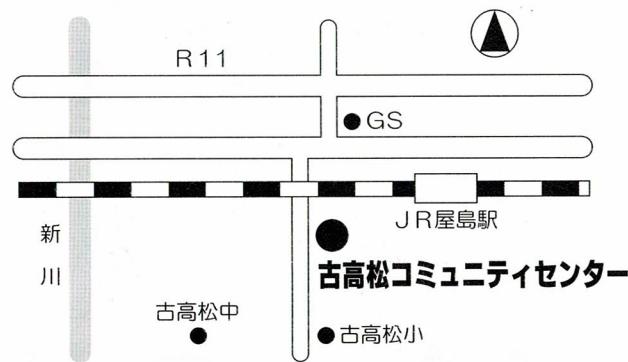
新館採用



ユニークな円形広場と屋外ステージ（屋上から望む）



採光に工夫の「光庭」、自販機は災害時の救援対応機。

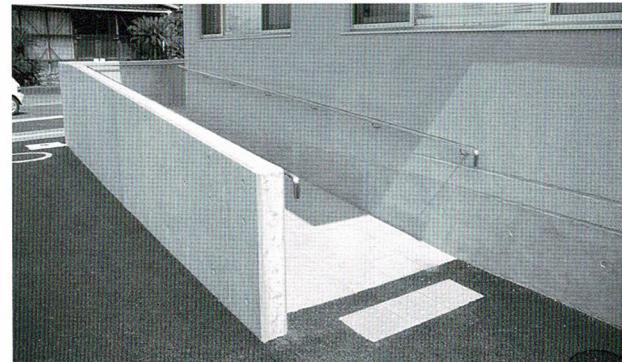


香川県建築士会の設計競技「古高松コミュニティセンター基本構想」に、私の案が採用され、大変光栄に思っています。特に地元の施設だけに喜びもひとしおです。この案を作成するに当たって特に考慮したことは、ワークショップでまとめた古高松地区の皆さんのお見

を、できるだけ反映すること、地域の皆さんのが集い、交流できるスペースをできるだけ広く取ること、そして太陽光発電、屋上緑化による地球に優しい建物を造ることでした。屋内では、ホールと図書コーナーを交流スペースとして設け、それに接してステージを備えた屋外の円形広場（コミュニティ広場）を配置して内外の一体化を図りました。そして光庭からは将来、屋上庭園が可能な屋上へ行けるよう計画しました。この古高松コミュニティセンターで、様々な年代の皆さんのが楽に集い、交流してもらえることを、また皆さんに愛されるように希

イワラ建築設計事務所代表 井藁博通

## 古高松コミュニティセンター 基本構想の狙い



玄関へ続くスロープ。優しい施設づくりが特徴だ。

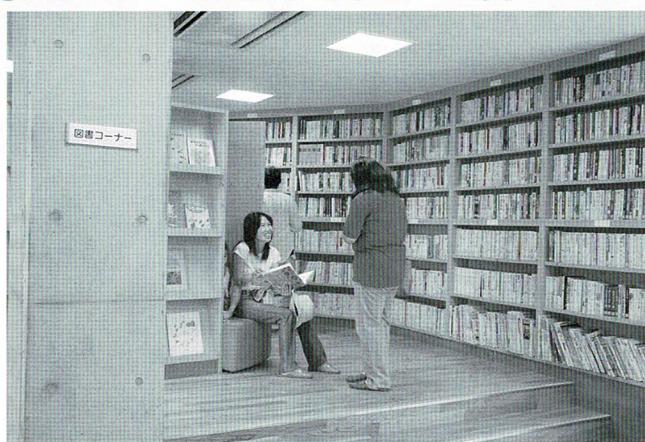
### 施設概要

[所在地]	高松市高松町10番地20
[敷地面積]	2,000.04m <sup>2</sup>
[延床面積]	697.56m <sup>2</sup>
本体部分	11.85m <sup>2</sup>
自転車置き場	25.95m <sup>2</sup>
屋外倉庫	
鉄筋コンクリート造	平屋建
玄関・図書コーナー	198.69m <sup>2</sup>
ホール	198.29m <sup>2</sup>
調理室	71.27m <sup>2</sup>
和室	38.91m <sup>2</sup>
会議室	45.00m <sup>2</sup>
センター事務室	24.85m <sup>2</sup>
出張所事務所	37.41m <sup>2</sup>
相談室	7.61m <sup>2</sup>
コピー室	8.00m <sup>2</sup>
[総事業費]	約3億7,060万円

新館探見

# 地元の意見が随所に反映

ナニ一香勝出も感と入んんし  
一テまななど手入の思し前初め  
ヒイたらどのりのりのつてや、してひつ入った  
ースで新しいを、ていいは人が、ていいか  
体ペ入はこい感すいります地出荷実感かでは、  
化一つのミニ机知つたほど地出荷実感かでは、  
してスてもユやすとほど域入り荷物のががが  
は、ぐですニテ子照く開くは広く  
乳図のすイ、明戸、く  
幼書コ。セ青  
児コミン畠使人な  
か一ユタのいのい  
実るがませ一越



交流スペースも兼ねる図書コーナー。授乳スペースも。

## 新センター訪問記

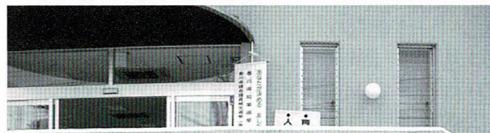
### 地域の拠点を実感

高松町 玉井 文子

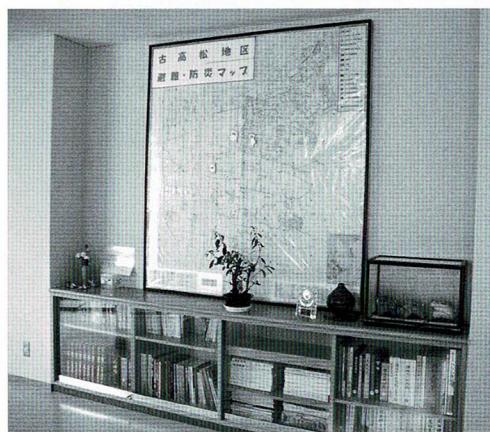
のす花り弱 で お集ら  
でらい返みし お集ら  
すぐつしでか お集ら  
。場ばが、し お集ら  
所い眩緑な お集ら  
で緑しがが お集ら  
あいい少ら、 お集ら  
つつ。な お集ら  
てば願く新 お集ら  
ほいわ太し お集ら  
しのく陽い お集ら  
い心はの所 お集ら  
もや、照の お集ら



男の料理教室もOKの調理室。

高松市 古高松コミュニティセンター  
高松市 古高松出張所

ポーチの壁を利用した標識。



玄関飾り棚上に掲示の地区避難、防災マップ。

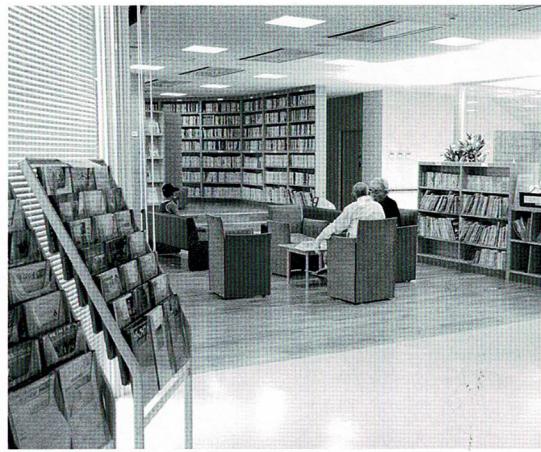
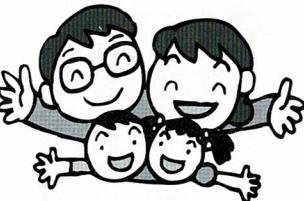
### 〈建設ドキュメント〉

- H7 公民館建設準備委員会発足
- H15・10・27 公民館建設準備委員会再編成
- H16・1・15 公民館建設準備委員会・コミュニティ協議会合同全大会
- 1・30 公民館建設準備委員会
- 2・5 出雲市高浜コミュニティセンター視察
- 2・10 市内新設公民館視察
- 3・9 委員会・協議会合同三役会
- 3・18 委員会・協議会合同全大会
- 3・22 古高松地区コミュニティセンターづくりを考える会発足  
(以後、8月3日まで毎月1~2回開催)
- 7・3 建設用地決定
- 8・9 協議会臨時総会(整備の基本的な考え方取りまとめ)  
県建築士会、建築設計競技の課題に採択
- H17・1・4 協議会臨時総会・建設設計競技入賞作品を基本構想案に決定
- 1・20 基本構想案を市に提案
- 3・2 (4・11) 地元要望書を市に提出
- 4・11 実施設計に着手
- 5・11 実施設計説明会(以後、7月11日まで4回開催)
- 7・20 協議会臨時総会・実施設計案の確定
- 9・8 センター運営について説明会
- 10・15 イメージパース完成・説明会
- 12・13 センター管理運営委員会
- 12・15 施工業者打ち合わせ
- 12・26 工事安全祈願祭
- H18・7・10 竣工
- 8・7 開館
- 8・10 落成式・祝賀会

**センター開館**

# 安心安全の町づくりを目指して 新活動拠点に

## 期待の声



図書コーナーと一体化、ゆったり交流スペース

日赤奉仕団古高松分団

団長 伏見 喜栄子

新しいセンターでの初利用は「セラピューティック・ケア」の一日講習会開催です。これは英國赤十字社が取り組んでいる首と肩と手のマッサージです。熟練者三十名養成済。無償出張実施中、多くの参加者期待！

古高松南小学校PTA

会長 山下 智史

多くの子どもたちが利用できる機会を作つていただきたいと思います。

古高松中学校PTA

会長 坂下 且人

地域の人達で考え、PTA、OBの井藁さんによる基本設計通りのた

もののが出来上がり、古中PTAも市内コミュニティセンターの第一号として落成したことを大変喜んでいます。「コミュニティとは、地域の連帯、コミュニケーション」とは住民の連携、そしてコミュニティの主役は私達ひとりひとり」を合言葉として今までの公民館から脱却し、新たな情報発信基盤となり幅広い住民の方々が利用されることを期待しています。

古高松校区子ども会育成連絡協議会

会長 岡谷 正康

すばらしい施設ができ、今後、古高松校区の各地子ども会、育成会の活動拠点に、また、地区的他の団体とのコミュニケーションの場に利用させて頂きたいと思います。

古高松地区交通安全母の会

会長 木野 美代子

新センターができ、住民の関心が高まっている今、主催、共催事業をよく知つて貰い、地域交流・ふれあいの場として一段と活発な活用を期待しております。

古高松南小学校PTA

会長 山下 智史

私たちもPTA一同が長く待ち望んでもいたコミュニティセンターが完成したことは、ほんとうにうれしいことです。ここを拠点にし、地域の親睦を深めて、安心安全の町づくりができたと期待しています。

古高松地区社会福祉協議会

会長 佐伯 英一

古高松地区保健委員会

会長 植村 道子

古高松地区社会福祉協議会は、地域コミュニティの中心的役割を自覚し、既存の事業と実績に対し、ますます地域の皆さんのニーズに応えるため、一層の研鑽努力をして参ります。「地域の事は地域で」をモットーに自助共助を推進し、地域福祉の目的達成に向かつて努力して参ります。

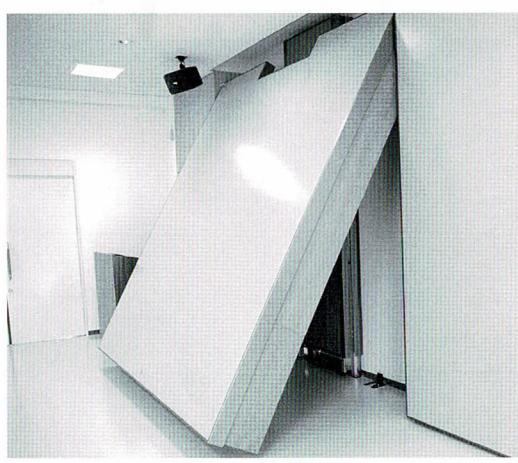
古高松地区社会福祉協議会は、地域コミュニティの中心的役割を自覚し、既存の事業と実績に対し、ますます地域の皆さんのニーズに応えるため、一層の研鑽努力をして参ります。「地域の事は地域で」をモットーに自助共助を推進し、地域福祉の目的達成に向かつて努力して参ります。

長い間待ちに待つた新コミュニティセンターの落成式典に臨み、また、

外からの眺めも現代的で素晴らしい方々のご苦労が偲ばれ、感激のみ。新コミュニティに思いを馳せて、人と人のふれあいを大切に、新センターの名に恥じないよう努力を願いたいと思います。

三町の中心に出来たことにより南北校区の子どもたちも今までにない活動が出来ると思います。

まず、手始めに育成会が何か行事を出来ないかと考えています。より



ホール壁面がステージに早や変わり





浴衣姿のちびっ子らでにぎわうバザーコーナー

平成十八年度古高松地区ふれあい交流事業の「旧(ふる)高松城まつり」は、七月三十日(日)夕、高松町の菱の池公園で開かれました。今年は、古高松コミュニティセンターの落成記念行事と併せての開催となり、また開、閉会時には、お祝いの餅投げもあり会場を盛り上げました。

手を受けていました。  
また、会場には各種団体による手作りのバザー、夜店も出て、

浴衣がけの家族連れや若者グループで大にぎわい。フィナーレの打ち上げ花火大会では、三百数十発の花火が鮮やかに夜空を彩り、夏の夕べを満喫しました。

# 郷土色豊か、ステージ彩る 盛大に旧高松城まつり



## 平成十八年度文化祭について\*

### 「文化祭日程」

作品展示 十月二十七日(金)  
二十八日(土)

平成十八年度文化祭は、古高松コミュニティセンター落成記念文化祭として、次の日程で開催することが決まりました。実行委員会を立ち上げ具体的に検討の予定。

発表会  
会場

古高松、古高松南  
両コミュニティセンター

### 編集後記

建設準備委員会発足から十一年。待望のセンター落成、開館ですが、

課題はこれから。

「新しい皮袋に新しい酒を」。そんな願いも込めての記念号です。ご多用の中、ご協力をいただいた皆様に感謝申しあげます。(C)

喜岡寺 (喜岡城・高松城跡)  
高松町永ノ谷

古高松、古高松南両コミュニティセンターの同好会などが大正琴や詩吟、カラオケ、舞踊、民謡など日頃の活動成果を披露。さらに「エイサー太鼓」、「ふれあい太鼓」、ジャズ演奏、素人のど自慢大合唱などがあり、盛んな拍

### ふるさと点描

喜岡寺

(喜岡城・高松城跡)  
高松町永ノ谷

藩政時代に入り天正十五年(1587)、讃岐十五万石の領主として賤ヶ岳の戦や小牧の戦で勇名を馳せた生駒親正が入国し、新しく城を築いた。」讃州さぬきの高松さまの、城が見えます波の上」と歌われた現在の高松城である。「高松」の地名は、城下町の高松城からとったもので、元の高松を「古高松」と改称した。高松発祥の地があるここにあった。平成九年から毎夏「旧(ふる)高松城まつり」が開かれている。

建武の中興に手柄のあつた高松(舟木)頼重が、建武二年(1335)讃岐の守護に任じられ、この城を築いた。以後、消長はあつたが、室町戦国時代を経て安土桃山時代に至る八代、約二百五十年間、高松氏一門の居城であった。

(絵・清水純二)

